

**typeL 主装置**  
**通話履歴参照ツール**  
**取扱説明書**

Netcommunity SYSTEM

**αNX** typeL

主装置タイプ / サーバタイプ

Netcommunity SYSTEM

**αNXII** typeL

主装置タイプ / サーバタイプ

*Smart Netcommunity*

**αN1** typeL

# 目次

## 通話履歴表示

パソコンを使って通話履歴を参照するには

(通話履歴参照ツール) .....	1
通話履歴参照ツールの準備 .....	1
通話履歴を表示する .....	4
通話履歴をファイルに出力する .....	5
エラーメッセージ一覧 .....	6

# パソコンを使って通話履歴を参照するには (通話履歴参照ツール)

主装置にLAN接続されたパソコンで通話履歴参照ツールを起動することにより、電話機の通話履歴を確認する「通話履歴表示」が行えます。

本ツールで通話履歴を表示できる主装置は以下のとおりです。

- ・ ネットコミュニティαNX typeL (バージョン: V5.50/V8.20)
- ・ ネットコミュニティαNXⅡ typeL (バージョン: V4.00)
- ・ スマートネットコミュニティαN1 typeL (バージョン: V4.50)

## 通話履歴参照ツールの準備

本通話履歴参照ツール用のインストーラを使用して、パソコンに本ツールをインストールします。

パソコンの推奨するスペックは以下のとおりです。

○使用条件 (2020年1月現在)

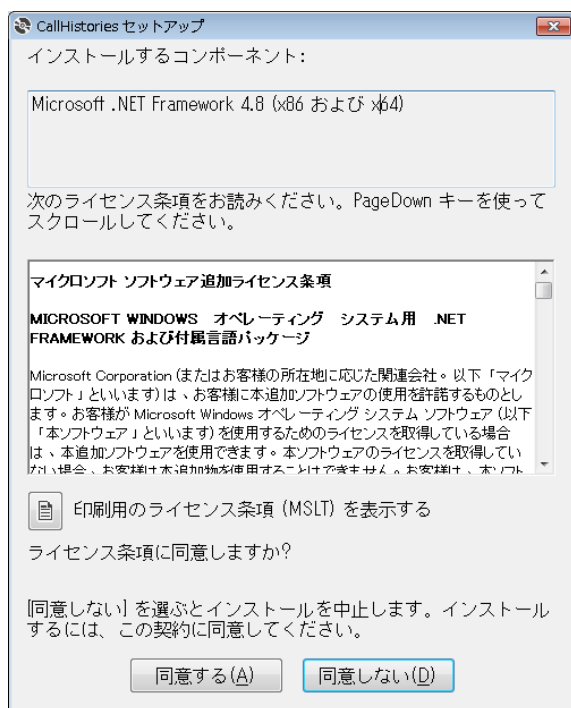
項目	スペック
OS	Windows8.1 無印 (32ビット版/64ビット版) Windows8.1 Pro (32ビット版/64ビット版) Windows10 Home (32ビット版/64ビット版) Windows10 Pro (32ビット版/64ビット版)
CPU	Intel (R) Core (TM) i5-4590と同等かそれ以上のプロセッサ
表示	1280×1024以上
LAN	10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-TX
RAM	4GB以上
HDD	40GB以上の空き領域
その他	.NET Framework 4.8 (注) .NET Framework 4.8 は、インストーラに同梱

※ Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。  
Microsoftの商標は予告なく変更される場合があります。

# パソコンを使って通話履歴を参照するには (通話履歴参照ツール)

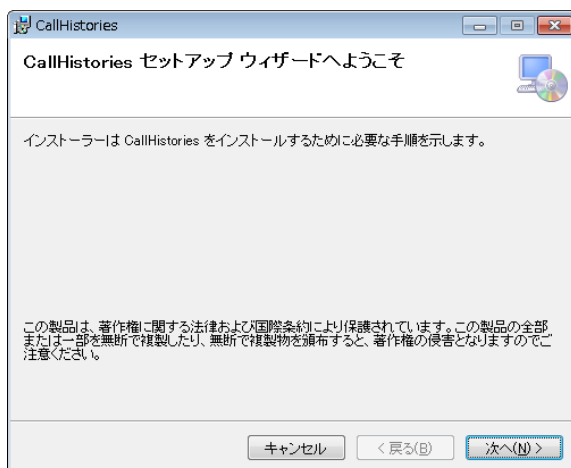
## 【インストール】

- ① インストーラ(CallHistoriesSetup.exe)を起動する  
Windowsの設定により、警告画面が表示される場合がありますが、[実行]をクリックしてください。  
**注意**：CallHistoriesSetup.exe以外のインストーラとの同時実行は行わないようにしてください。
- ② .NET Framework 4.8 がインストールされていない場合、.NET Framework 4.8のインストーラが起動するので、インストールを行う
  - I. 以下の画面が表示されるので[同意する(A)]をクリックする



**注意**：[同意する(A)]をクリック後、.NET Framework 4.8のインストールのキャンセルは行わないようにしてください。

- II. .NET Framework 4.8 のインストール完了後、パソコンの再起動を促すメッセージが出た場合はパソコンを再起動する
  - III. パソコンの再起動後、インストールが再開されない場合は、再度インストーラ(CallHistoriesSetup.exe)を起動する
- ③ セットアップウィザードが表示されるので、表示された内容に従って操作する



## 【アンインストール】

- ① アンインストールはWindowsの機能で行う  
Windows8.1の場合は「プログラムと機能」から、Windows10の場合は「アプリと機能」から行います。  
詳細については、Windowsのヘルプ等を参照してください。

本ツールが出力したログ/CSVファイル等は、アンインストール後も以下のディレクトリに残ります。

不要な場合は削除してください。

- ・ C:¥call\_hist
- ・ C:¥Users¥<UserName>¥.nx2¥CallHistories  
(<UserName> は、Windowsへのログインユーザ名。)

## 【操作説明】

- ① パソコンを主装置とLAN接続する
- ② パソコンでツールを起動(※1)する
- ③ 通話履歴参照後、[ログアウト]を押下する  
ログアウトすると初期画面に戻ります。
- ④ 画面右上の「×」ボタンをクリックし、ツールを終了させる(※2)

※1 ツールは以下のいずれかの方法で起動することができます。

- ・ スタートメニューから「CallHistories」をクリック
- ・ デスクトップにある「CallHistories」をダブルクリック
- ・ 「C:¥callhist¥CallHistories.exe」をダブルクリック

※2 正常にログアウトしなかった場合、再度ログインするには約5~10分待ってからログインしてください。

## 【備考】

- (1)従来の「Web通話履歴表示」はWebアプリケーションとして、ブラウザ上で機能を提供していましたが、本「通話履歴参照ツール」はデスクトップアプリケーションとして提供するものです。  
そのため、以下の違いがあります。
  - ・ レイアウト
  - ・ ブラウザが提供していた機能(印刷、画面の拡大/縮小など)は未提供
- (2)アプリケーションの利用中に主装置との通信が切断された場合、初期画面へ戻ります。  
なお、再度ログインするには約5~10分、経過する必要があります。
- (3)本ツールを終了する場合、かならずログアウトしてください。  
ログアウトを行うと、通話履歴の蓄積が停止します。

## 通話履歴を表示する

主装置に接続している電話機の通話履歴を、1回に最大2000件まで受信し、パソコンへ累計最大12万件まで蓄積して確認することができます。

- ① 通話履歴参照ツールを起動する
- ② [ログイン] ボタンをクリックする



- ③ 主装置アドレスおよびパスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックする

主装置のIPアドレスは設置時に工事担当者にご相談のうえ、お決めください。

IPアドレス (控え)



通話履歴が表示されます。



○通話履歴の表示内容は

項目	内容
情報	発信/着信通話および着信未応答の履歴が表示されます。
通話開始日時	通話開始時間が、「年/月/日 時:分-秒」の形式で表示されます。
使用者情報	通話をした内線電話機の内線番号が表示されます。
相手先番号	通話相手の番号が表示されます。 着信通話の相手番号を表示するには、ナンバー・ディスプレイ契約が必要です。
通話時間	通話時間が、「時:分-秒」の形式で最大9時間59分59秒 (9:59-59) まで表示されます。
使用回線	通話時に使用した回線の番号が表示されます。
回線種別	発信に使用した次のいずれかの番号が表示されます。 番号: 名称 (注1) 01: 国内、08: 専用線、09: VPN、14: 国際、16: IP電話、19: 不明

注1: 名称は「システムデータ設定」により変更可能です。



### お知らせ

- ログインパスワードは主装置に同梱されている取扱説明書「Web通話履歴表示(P6-2)」を参照ください。

# パソコンを使って通話履歴を参照するには (通話履歴参照ツール)

## 通話履歴をファイルに出力する

指定した期間の通話履歴データをCSVファイルに書き出すことができます。

- ① 通話履歴表示画面の [ファイル出力] ボタンをクリックする
- ② 通話履歴画面で開始日時および終了日時を指定する
- ③ [検索開始] ボタンをクリックする
- ④ [ファイル出力] ボタンをクリックする



### お知らせ

- 通話履歴データは13万件を超えると古いデータから自動的に消去されます。定期的（月に一度など）にCSVファイル出力することをおすすめします。
- 出力したCSVファイルは本ツールのインストールディレクトリに保存されます。

### ○CSVファイル内容

#### 発信通話履歴

① [0,2010/11/09 14:31-23,0,0000,2010/11/02 13:48-55,T,0305,005,T,0305,305,031234\*\*\*\*,5678\*\*\*\*,00:01-25,024,16]

#### 着信通話履歴

① [0,2010/11/09 14:31-24,I,0001,2010/11/02 13:48-44,T,0140,102,035678\*\*\*\*,00:03-03,004,031234\*\*\*\*,, , ,]

#### 着信未応答履歴

① [0,2010/11/09 14:31-26,R,0003,2010/11/02 13:52-56,, , ,035678\*\*\*\*,00:00-02,002,031234\*\*\*\*,016,, ,]

項目	内容
①ポート	0固定です。
②受信時刻	CSV出力したときのパソコンの時刻が出力されます。
③識別子	次の文字で通話履歴が出力されます。 文字の意味は次の通りです。 O：発信通話、I：着信通話、R：着信未応答
④通し番号	0000から9999までの通し番号が出力されます。
⑤通話開始日時	通話開始時間が「年/月/日 時：分 - 秒」の形式で出力されます。
⑥課金者情報(1)	課金者識別子が出力されます。 T：内線、L：回線、I：IDコード
⑦課金者情報(2)	⑥の出力内容に対応する管理番号が出力されます。 T=0001-0512、L=0001-0256、I=0001-0512
⑧課金者情報(3)	グループ番号が出力されます。 T=001-128、L=001-128、I=000-064
⑨発信者情報(1)	管理対象識別子が出力されます。 T：内線、L：回線、O：発番号、I：IDコード、K：トーカー、M：音声メール
⑩発信者情報(2)	⑨の出力内容に対応する管理番号が出力されます。 T=端末番号4桁、L=回線番号3桁、O=発番号最大32桁、I=ID最大8桁、K=管理番号4桁、M=管理番号4桁
⑪発信者情報(3)	通話をした内線電話機の内線番号が出力されます。
⑫発信者情報(4)	発信者の番号が最大で10桁出力されます。

項目	内容
⑬発信番号	電話をかけた相手先の番号（発信ダイヤル番号）が最大で32桁出力されます。
⑭通話時間	通話時間が、「時：分-秒」の形式で最大9時間59分59秒（9:59-59）まで出力されます。
⑮使用回線	通話時に使用した回線の番号が出力されます。
⑯回線種別	発信に使用した次のいずれかの番号が表示されます。 番号：名称（注1） 01：国内、08：専用線、09：VPN、14：国際、16：IP電話、19：不明
⑰着信者情報(1)	管理対象識別子が出力されます。 T：内線、L：回線、O：発番号、I：IDコード、K：トーカー、M：音声メール
⑱着信者情報(2)	⑰の出力内容に対応する管理番号が出力されます。 T=端末番号4桁、L=回線番号3桁、O=発番号最大32桁、I=ID最大8桁、K=管理番号4桁、M=管理番号4桁
⑲着信者情報(3)	通話をした内線電話機の内線番号が出力されます。
⑳相手番号	通話相手の番号が出力されます。 着信通話の相手番号を表示するには、ナンバーディスプレイ契約が必要です。
㉑着番号	着番号が最大で32桁出力されます。
㉒呼放棄理由	呼放棄理由が出力されます。

注1：名称は「システムデータ設定」により変更可能です。

CSVファイルの詳細については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。



### ワンポイント

○ダイヤルカット条件を設定するには  
通話履歴に対し、ダイヤルカット条件を設定することができます。お買い求め時には「ダイヤルカット有」になっています。

- ① 通話履歴表示画面の [ダイヤルカット設定] ボタンをクリックする
- ② ダイヤルカットの項目で「有り」または「無し」を選択する
- ③ [設定開始] ボタンに続き、[OK] ボタンをクリックする  
「有り」に設定した以降はダイヤル表示の下4桁が「\*\*\*\*」の表示になります。



## エラーメッセージ一覧

各画面では、操作内容によって、以下のエラーが表示されます。

エラーメッセージ	意味
現在ログイン中です。終了する前にログアウトしてください。	ログイン中にツールを終了しようとした。
蓄積件数が120,000件を超えました。ファイル出力してください。	蓄積件数が120,000件を超えた。
IPアドレスの内容が間違っています。	ログイン先の主装置のIPアドレスの内容が間違っていた。
ログインパスワードの内容が間違っています。	主装置にログインできなかった。
ファイル名を設定してください。	出力先のファイル名が未入力だった。
ファイル名が規定文字を超えています。	出力先のファイル名が長すぎた。
ファイル名に使用出来ない文字が含まれています。	出力先のファイル名に、ファイル名に使用できない文字が含まれていた。
同名のファイルが既に存在しています。	出力先として入力したファイルが既に存在し
XXXXを設定してください。	XXXXが未入力だった。 (XXXXは任意の入力項目)
XXXXに不正な値が入っています。	XXXXに不正な値が入力されていた。 (XXXXは任意の入力項目)
半角数値以外は設定できません。	半角数字しか入力できない項目に、半角数字以外が入力されていた。
開始日時が終了日時より後になっています。	ファイル出力の対象データの指定範囲について、開始日時が終了日時より後になっていた。
終了日時が保存開始日時より前になっています。	ファイル出力の対象データの指定範囲について、終了日時が保存開始日時より前になっていた。
開始日時が最終受信日時より後になっています。	ファイル出力の対象データの指定範囲について、開始日時が最終受信日時より後になっていた。
ファイル出力に失敗しました。	ファイル出力時、何等かの理由で出力に失敗した。
ダイヤルカット設定に失敗しました。	ダイヤルカット設定時、何等かの理由で出力に失敗した。
主装置との接続中にエラーが発生しました。主装置の状態を確認してください。	主装置に接続する際、何等かのエラーが発生した。
通話履歴の受信中にエラーが発生しました。主装置の状態を確認してください。	主装置から通話履歴を受信中に、何等かのエラーが発生した。
ログインに失敗しました。対象外のバージョンです。	接続先の主装置が、サポート対象外のバージョンだった。
データベースファイルにアクセスできません。	通話履歴の記録用データベースへのアクセスに失敗した。
接続できません。IPアドレス・パスワードを確認してください。	主装置へのログインに失敗した。



---

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

**当社ホームページ**：<http://web116.jp/ced/>  
<http://flets-w.com/solution/>

---

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

## NTT 通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

**お問い合わせ先**： **0120-970413**

※携帯電話・PHS・050IP 電話からのご利用は  
03-5667-7100（通話料金がかかります）

**受付時間** 9：00～17：00

※年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

**お問い合わせ先**： **0120-248995**

**受付時間** 9：00～17：00

※年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

---

©2018 NTTEAST・NTTWEST



本 3475-1(2020.1)